

過去の克服・加害と被害を考える学習講演会 日本関東軍による棄兵・棄民政策

戦後七〇年、安倍政権によつて安保法制が強行採決され、第九条を反古にするための憲法改悪が企図され、またおおさか維新の会によつて歴史修正主義の立場から学校教育における歴史改竄教科書の採用が強行されていく今日、日本の侵略と戦争の歴史を振り返り、国民総体としての正しい歴史認識の実現の努力が大いに求められています。アジアで数千万人という言語に絶する犠牲を生み出した日本軍国主義と日本の政権・軍部が国策として遂行した戦争責任をさらに明確にしていくことが、

過去の克服・加害と被害を考える 日本・関東軍による棄兵・棄民政策

講師 黒澤 誠司 氏 (弁護士)

4月24日 (日) 14:00~16:30

大阪グリーン会館 (申込不要・先着順150名)

JR東西線天満宮、地下鉄南森町駅8分

参加協力費 (資料代込み) 1000円

(呼びかけ団体) 大阪民衆史研究会、日中大阪府連

講師紹介

黒澤 誠司 弁護士

大阪府出身 1998年弁護士登録

京都法律事務所入所

中国残留孤児国家賠償訴訟京都弁護士会 事務局、シベリア抑留国賠

訴訟弁護士 事務局長、青年法律

家協会京都支部 事務局長、NP

〇法人 患者の権利オンブズマン

関西常任委員などを歴任

講演要旨

なお、事前申し込みは不要ですが、会場の都合で先着順とさせていただきます。

歴史の証言

「麻山事件」から生還して 黒川 猛夫氏

哈達河(ハダハ)開拓団1300人のうち400名以上が自決を強要され、生き残ったのは七人の幼い子どもだけという悲惨な体験談を黒川猛夫氏がお話しされます

麻山事件(まさんじけん)とは、太平洋戦争末期の1945年(昭和二〇年)八月十二日、満州国鶏寧県麻山区(現中華人民共和国黒龍江省鶏西市麻山区)において、日本の哈達河開拓団が避難中にソ連軍と満州国軍反乱兵によって攻撃されて集団自決した事件。421人が死亡した。

敗戦間際、日本政府は天皇制国家を維持することを最重要課題としていました。こうした日本政府の方針に従って、敗戦前後に関東軍首脳と軍幹部家族らは開拓団員をはじめとする一般の居留民を置き去りにしていち早く帰国を促しました。置き去りにされた一般居留民の幼子や婦人たちは残留孤児や残留婦人となり、関東軍司令部から武装解除の指示を受けた将兵たちは、ソ連軍に連行され、シベリア等で過酷な強制労働を科せられることになりました。

国策で人々を侵略のための開拓や戦争に駆り立てた政府と軍の横暴と無責任は決して忘れてはなりません。歴史は繰り返します。過去の出来事に目を向けたいと現在の状況を正確に見ることができませぬ。今回の企画が現在の状況、そして将来を正しく見据えるきっかけになれば幸いです。

水餃子の会 西支部定例行事

三月十三日吹田市で水餃子を過ぎました。大阪西支部の二月定例行事を二十名が四組に分かれて作りました。毎年参加のベテラはボーリング大会です。十七日から初参加の方も含めて、日桜橋ボーリング場で、リーダーの指示のもとマニユ名が四組に分かれて開催されました。予想に反して優勝来がありました。



事前に餃子の皮の材料を準備して各班それぞれ皮作りから、レンコンのみじん切りや野菜と豚肉をあわせて具材も出来上がり、一時間ねかせた水餃子の皮に包みこみ美味しくいただきました。差し入れの日本酒や手作りの一品も添えて楽しいひと時

ミニ企画で盛り上げプレ太極拳まつり

関西ブロックでは、東海ブロックの協力も得て、全国交流会に参加できない人も含めて、太極拳普及四〇周年を記念して五月十四・十五日に京都の石清水八幡宮体育館で、ミニ企画「太極拳まつり」を企画しました。

四月から始まる教室は交流会参加のための講習に切り替えて、みんな四〇周年を楽しく迎えるようにしたいと企画しています。

全国初公開「棍術の型」も東海、

終了後レストランでの新年会は、和気愛々と談笑の輪が広がる、本日に楽しい一日を過ごすことができました。楽しい行事を通じて、会員相互の親睦をはかり、大阪西支部を皆の力で大きく発展させたいと思っています。

太極拳普及40周年記念
プレ太極拳まつり
五月十四・十五日
石清水八幡宮・体育館
全日程参加13,000円
参加申込はお早めに、
各教室か府連事務所まで
太極拳普及40周年記念
全国交流会
十一月十七日(日)十時から
東京武道館(足立区綾瀬)